

令和5年度 校内研究実施計画書

1 研究主題及び教科

研究主題	自分の考えをもち、伝え合う子どもをめざして ～ICT機器を活用した授業づくり～
教科・領域	全教科

2 主題設定の理由

本校では、2022年度から「自分の考えをもち、伝え合う子どもをめざして～ICT機器を活用した授業づくり～」という研修主題を設定し、全教科においてICTを活用した授業研究に取り組んでいる。

2022年度の研究の成果として、「ICTを活用して教材を工夫することで、児童が自分の考えをもちやすくなった」、「学習を苦手としている児童も含めて、多くの児童が意欲的に課題解決に取り組むようになった」などが挙げられた。オクリンクやジャムボード、スプレッドシートなどの様々なツールを、児童の実態や単元の特徴に沿って使い分けることで、授業づくりの幅が広がったと思われる。また、今までは触れにくかった「発表が苦手な児童の考え」が取り入れやすくなったことで、児童の思考がより刺激されやすくなったのではないかと考えている。

一方で、課題として、「考えがより多様になったことで、考えをもたせた後の授業展開に迷いが生じた」、「考えをもつことはできているが、伝え合う場面になると活発さがなくなる」などが挙げられた。せっかく児童の考えを深めるためのアイテムがそろっているのに、それらのアイテムをうまく生かすきれないもどかしさがあった。

以上の経過を踏まえ、今年度は昨年度と同様の研究主題を設定し、特に「伝え合う」ことに焦点を当て、効果的なICT機器の活用方法を研究していく。

3 研究内容及び方法（できるだけ詳しく書いてください）

（研究の柱—自分の考えをもたせたり、伝え合ったりするためのICTの活用）

考えをもたせるためのICTの活用例としては、児童の興味関心をひいたり、ヒントとなるカードを提示したり、既習事項の復習として活用したりすることが挙げられる。具体的な方法としては、「各教科の教科書にあるQRコードを読み取って動画を見せる」「スプレッドシートやオクリンクを通して、ヒントカードや友だちの考えを見られるようにする」などがある。

自分の考えを伝え合う活動においては、ノートやワークシートに書いた考えを書画カメラで写したり、オクリンクで考えを文字や図にして示したりして、ICT機器を活用できる。その際には、根拠や理由などを伝え合う活動でより詳しく伝えられるようにするなどの工夫を取り入れることもできると考えられる。

各教科の性格や児童の実態などに応じて活用できるツールは多岐にわたると考えられるため、ICTをどのように活用できるのか、様々な実践を共有したい。

（今年度の重点）

ア. 授業力UP5を意識した授業づくり

イ. 読書活動を充実させ、児童の表現力・説明力・読解力を向上させる。

（主題につながる取り組み）

○学び合う関係・環境作り（聞き合う・話し合う・語り合う・読書活動）

学級での毎日の授業や生活場面、学年や全校集会などの場面で「聞く」「伝える」などの活動に取り組む。

○朝のモジュール学習

火、水、金曜日には、朝の会の前に15分のモジュール学習を行う。モジュール学習の時間では、低学年は読書や教科の学習、中・高学年は国語の学習を行い、授業時数を確保するとともに、基礎・基本の力の向上を図る。

○**学力パワーアップ週間**

平田野中学校のテスト期間に合わせて、年間5回行う。主な目的としては、学習習慣や生活習慣について親子で見つめ直す機会を設けることで、家庭学習や規則正しい生活への意識を高めることである。

○**言語活動の基礎**

国語では、音読の反復練習を重視する。日記、作文、手紙等、日常的に書く活動を多く取り入れ、3年生以上は常時、国語辞典が使えるようにする。

○**家庭学習**

宿題については、以下の表を基本線としながら、各学年の実態に応じて内容を吟味する。同じ内容の宿題を複数回出すなど、児童が基礎学力を定着させるために工夫をし、その効果を学年や学校全体で共有する。

○**「明生ノート」(自主学习ノート)**

3年生以上で、専用のノートを1冊用意して取り組む。週に一回は宿題として出す。宿題で取り組むことで、学習が楽しくなったり(例・算数パズル)、成果が出たり(例・理科の教科書を視写をし、単元テストを行う)するような工夫を行い、自主学习につなげる。また、効果的なノートを作っている児童を紹介し、取り組むことが難しい児童へのヒントにする

○**読書活動の充実**

読書に関する学習指導を取り入れたり、学習委員会が主導する行事を行ったりするなどして、児童が読書に親しみ、読書を通して様々な知識を得られるような取り組みを行っていく。

4 年間研修計画

一 学 期	4月19日 第1回全体研修会(研究の概要, 指導案の書き方) 7月25日 第2回全体研修会(本校の課題分析, ICT 実践交流, 指導主事招聘予定)
二 学 期	9月27日 第3回全体研修会(高学年部研究授業, 指導主事招聘) 11月14日 第4回全体研修会(低学年部研究授業, 指導主事招聘)
三 学 期	1月中旬 第5回全体研修会(リフレクションシート交流会) 3月上旬 第6回全体研修会(今年度のふりかえり, 来年度に向けて)